



鳥取大学附属特別支援学校

ふれあいだより



1 月

懇話会主催 もちつき大会

“雪が降る”という天気予報に「無事にもちつき大会ができるかなあ」と心配しながら迎えた、平成22年も終わりに近い12月17日金曜日。予想が少しはずれて、穏やかなよい天気となりました。昨年度は新型インフルエンザの流行で、もちつき大会は残念ながら中止でした。「今年こそ！」というみんなの願いが天に届いたようでした。

模範のもちつきをしてくださるご夫婦の息のあった様子をみんなで見ながら、「よいしょ！よいしょ！」と掛け声をかけたり、奉仕活動部長さんのインタビューによるもちつきのワンポイントアドバイスを聞いたりして、「よし！今度はわたしたちがつく番だ！」という気持ちも高まりました。餅米の蒸しあがった匂いや湯気の中で、「はい！」「よいしょ！」の掛け声やペタン！ペタン！という音が交わって、とても楽しい会になりました。

学部ごとに分かれて、わいわいおしゃべりをしながらつきたてのお餅を“ぜんざい”や“きな粉”で食べました。豚汁やみかんなども用意されていて、心も体もお腹もぽっかぽかになりました。保護者のみなさん、前日までの準備から当日の片づけまで、ご協力ありがとうございました。



1 月 行 事



11日(火)	全校朝会	11:30下校
12日(水)	集金日	13:00下校
	入学選考前日準備	
13日(木)	入学選考	
	児童生徒休業日	
14日(金)	合格発表	
16日(日)	同窓会	
17日～21日	体位測定週間	
18日(火)	桐林先生来校(小)	
19日(水)	卒業写真	10:00
20日(木)	出前かっこ館(小)	
21日(金)	卒業写真予備日	ふよう教室
	高等部	14:30下校

23日(日)	参観日(人権教育)
	文化講演会
24日(月)	振替休業日
25日・26日	介護等体験
25日(火)	土肥先生来校(中)
27日(木)	未来のパパママ育み教室 (高・専)
27日・28日	連絡体験入学(小→中)
31日・2/1日	連絡体験入学(中→高)
31日～2/10日	現場実習(専1)



平成22年度 公開研究会

研究主任 谷口由紀子

昨年からはじまった研究テーマ「個の育ちをつなぐ教育課程」のもと、12月3日（金）に公開研究会を行いました。今年度も保護者の皆様には、たくさんのご協力をいただき、ありがとうございました。

当日は、県内外から教育関係者の方々に来校していただき、学習の様子を見ていただくことができました。どの学部でも、児童生徒たちはじっくりと学習に取り組んでおり、いつもと変わらず生き生きと活動に取り組む姿を公開することができたことをうれしく思います。その後の学部別分科会では、単元の学習内容や児童生徒の成長している様子等について学部の担当者が提案発表を行い、研究協議の場を持ちました。その場では、いろいろな意見を聞いたり、指導助言の先生方から多くの示唆もいただいたりしました。これらをもとに、来年度は3年目のまとめとして、研究に取り組んでいきたいと考えています。

公開授業の内容

○小学部	日常生活の指導	「朝の会」
	生活単元学習	「ほかほかパーティーをしよう」 ～パーティーの準備をしよう～
○中学部	生活単元学習	「Let's ミュージカルⅢ」 ～たくさんのお客さんに見てもらおう～
○高等部本科	生活単元学習	「卒業後のくらしⅢ」
	〔健康グループ〕	～マイヘルシーライフ～
	〔マイリビンググループ〕	～おしゃれをして出かけよう～
	〔マイライフグループ〕	～自分らしいくらしに向けて～
○高等部専攻科	くらし	「研修旅行」 ～本人分科会に向けて会話の練習をしよう～

また、講演会では、滋賀大学教授の白石恵理子先生に、「障がいのある子どもたちの集団の中での自分づくり」という演題で講演をしていただきました。この講演を通して、子どもたちの生活の場面で見られる姿から、その育ちや思いをくみ取っていくことの大切さを改めて学び直すことができました。

今年度も研究テーマに、「個が生きる集団づくりに視点をあてて」というサブタイトルを設け、全学部で『生活を楽しむ子』を育むための、「自分づくり」を大切にした取り組みのもと、児童生徒たちの「集団づくり」を支援する取り組みを進めてきました。児童生徒たちは、身近な教師や友だちの支えを受けながら集団の基礎をつくっていきます。そして、友だちの輪が広がって仲間となり、その仲間を支えとして地域社会とつながっていきます。研究を通して、これらの人との関わりは「自分づくり」にとって大切であることを再確認することができました。そして、これからの指導や支援に、集団づくりをさらに生かしていきたいと考えています。